

新採用職員募集 Q & A

【会社説明会】

Q 会社説明会を実施する予定はありますか。

A 説明会は本部（東京）と大阪にて、複数回実施いたしますので、マイナビから申込みしてください。

【会社訪問】

Q 会社訪問をしたいのですが、指定日等がありますか。

A 会社訪問という形では受け付けていませんが、同じ学校出身の先輩等を尋ねて話を聞いていただくことは、先輩職員の業務に差し支えがなければ可能です。個別に先輩職員に連絡をとって訪問日や時間を調整してください。また、会社訪問の実績による採用試験での有利不利は一切ありません。なお、先輩が職員におられない場合は、総務課で対応いたしますので、その旨電話等でお申し出下さい。

【応募資格等】

Q 競馬の知識がないと採用試験で不利になることはありませんか。

A 学科試験は一般教養問題ですし、適性試験も一般的なものです。したがって、競馬に関する知識の有無は、採用試験では問題にしません。競馬の知識は当協会の職員になってからしっかり勉強して身につけていただければ結構です。ここ数年は回復基調ではありますが、地方競馬はまだ厳しい経営状況にありますので、むしろ前例にとられない斬新な手法で地方競馬振興施策を立案しなければならないという面もあるので、競馬の知識にとられない豊かな発想力も大いに必要と考えています。

Q 出身大学や専攻していた学科の違いによる有利不利はありませんか。

A 出身校や学部学科による有利不利は一切ありません。

【女性の採用実績】

Q 女性職員の採用実績を教えてください。

A 毎年多くの女性の方に採用試験を受けていただいておりますが、直近では平成 28 年度 2 名（5 名中）、29 年度 2 名（6 名中）採用、30 年度 2 名（3 名中）、31 年度も同じく 2 名（5 名中）の採用を予定しております。

【求められる人材】

Q どのような人材を求めていますか。

A 当協会の業務の幅は広く、業務上接触する相手方も、監督官庁たる農林水産省をはじめ J R A や地方競馬主催者、馬主、調教師、騎手、きゅう務員その他の競馬関係団体の方の

ほか、畜産主管部署の都道府県庁の職員その他の畜産関係団体の方、報道機関の方、競馬又は畜産に関して造詣の深い学識経験者、競馬ファン等々非常に広範でさまざまな立場にある方々です。そういう意味で、「他人の意見を十分に聞いて理解する能力」「自分自身の意見や考え方をしっかり持って、誠実にわかりやすく相手に説明できる能力」「課題の一つ一つについて異なる立場、異なる意見の人々の間を辛抱強く調整整理してとりまとめ、理解を得る能力」などが求められます。また、現在の厳しい経営状況の中で地方競馬振興につながる斬新なアイデア、前例や既存のルールにとらわれない豊かな発想力でものを考える能力が求められます。

また、競馬開催時には、当協会から裁決委員等として専門職員が競馬場に派遣されていますが、これらの業務は個人の判断で処理するものが多く、毅然とした態度と機敏な判断力が必要とされます。

【馬券の購入制限】

Q 競馬法を見ると、地方競馬全国協会の役職員はすべての地方競馬について馬券を買ってはいけないと規定されていますが、中央競馬の馬券は買っていいのですか。

A 原則として、中央競馬の馬券は買うことができます。

【地方共同法人化】

Q 平成20年1月に地方競馬全国協会は特殊法人から地方共同法人という組織形態に変わったと聞いていますが、それによって事業内容も変わったのですか。

A 地方共同法人は、地方公共団体の共通の利益となる事業等を実施する公的な法人です。

当協会が地方共同法人となっても、登録や免許のほか裁決委員等の専門職員の派遣といった公正確保に関係する業務や畜産振興補助事業は引続き実施しておりますが、競馬法の改正により、新たに地方競馬の開催日程・番組編成の調整、競走の実施の受託事務、共同利用施設の整備等の事業が追加されました。

また、国の公募する補助事業の実施主体として選定され、馬産地の再活性化対策事業を実施しております。

【企業風土】

Q どのような社風ですか。

A 百名程度の職員で多岐にわたる業務を行っておりますので、勤続経験が少なくても比較的重要な業務を任せられます。業務を適正・円滑に遂行することが求められることから、上司と部下が常に意思の疎通を図り、協調・協力して業務に当たることが必要です。

【新人職員へのフォローアップ】

Q 新人職員の教育はどのように行いますか。

A 採用した日から概ね2～3週間かけて、競馬関係法令や当協会の具体的な業務内容などについて必要最小限の知識を習得してもらうための研修を実施します。

また、研修終了後配属部署で業務に従事しますが、その際、配属部署の業務についてその部署から詳細な説明がありますし、実務に携わる中でも適宜先輩職員が指導に当たります。特に、少しでも疑問に思ったことやわからないことがあったら、気後れすることなく、上司や先輩職員に聞いて疑問を解消することが重要です。

【人材育成について】

Q 入社後からの人材育成はどのように行っているのでしょうか。

A 前述のとおり、勤続経験が少なくても比較的重要な業務を任せることから、特に入会10年目までの若手職員に対しては、研修プログラムに基づき、世代別に必要なスキルアップを図るための研修を受講させています。また、裁決・決勝審判業務に限らず、社会保険や簿記などの配属された職務に応じた研修も受講させますので、事前に知識がなくても心配はいりません。

【勤務地と転勤、人事異動のローテーション】

Q 勤務地として、本部と地方競馬教養センターのほか、関係団体とありますが、具体的にはどのような場所ですか。また、転勤はありますか。

A 当協会と密接な関係を有する畜産又は競馬関係団体や関連会社などに派遣されてそれらの団体の一員としてその団体の業務に従事する場合があります。ほとんどの場合は東京都内が勤務地となりますが、これらの派遣先が通勤できない場所であるときは転勤することになります。

基本的な人事異動のローテーションは2～3年程度であり、派遣期間もこれと同じです。

Q 職種の区分を、全国的な転勤を伴う総合職と転勤を伴わない又は転勤地域が限られる一般職とに分けている企業がありますが、貴協会ではそのような区分がありますか。

A ご質問のような区分を設けることは考えていません。

今回募集するのは、ご質問の区分でいえば総合職に当たります。転勤が多いのは困るといふ方は、ご自身の考えるライフスタイルに合うのかどうかよく考えて応募してください。

【人事異動の希望】

Q 異動したい部署がある場合、希望は考慮してもらえますか。

A 1年に1回、異動部署の希望や将来やってみたい業務等についての面談を実施しています。必ずしも希望がかなえられるとは限りませんが、人事異動は、本人の勤務の実績、能力、適性を見て行うことが基本ですから、面談での回答内容は人事異動の際の参考にしていきます。

※ その他、当協会サイトにおいて当協会の組織の概要等が公開されていますので、参考にしてください。